

やまと

JA鶴岡広報誌

暮らしに幸せ運ぶ

12・1

合併号

December 2020 · January 2021

おかげさまで

★★★通巻★★★

600号

[特集] 新春対談

600号記念 JA鶴岡のあゆみ



園芸品目研修会を開催しますので別紙ご案内をご覧ください

JA鶴岡

暮らしに幸せ運ぶ けさらん

2020.12・2021.1 No.600



CONTENTS [もくじ]

- 03 新春対談
- 06 年男年女 丑年さんの初夢
- 08 600号記念 JA鶴岡のあゆみ
- 10 けさらん新春クイズ
- 11 女性フェスティバル
- 12 とれたて けさらんニュース
- 13 ふれあい伝言板／とれたて けさらんニュース
- 14 クロスワードパズル／理事会開催報告
- 15 JAからのお知らせ／編集後記「灯台」

広報誌「けさらん」の配布日変更のお知らせ

いつも本誌「けさらん」をご愛読いただきまして誠にありがとうございます。

毎月15日基準に配布しておりました本誌「けさらん」につきまして、ふれあい活動日の変更に伴い、当月号より毎月20日基準の配布日に変更させていただくこととなりました。

何卒ご理解のほどよろしくお願ひ申しあげます。今後とも変わらぬご愛読を賜りますよう重ねてお願い申しあげます。



○ 今月のモデル



藤沢 難波 咲心ちゃん 4歳
みこ
ふゆ

美柚ちゃん 3歳
あさ
杏沙ちゃん 0歳
あさ
杏沙ちゃん 0歳

●お父さん：裕人さん ●お母さん：瞳さん

恥ずかしがり屋だけど、何事にも一生懸命で面倒見のいい咲心。

かわいい物が大好き、おしゃべり上手でいつも笑わせてくれる美柚。

笑顔が増え、家族みんなを癒してくれる杏沙。姉2人も杏沙の面倒を見るのがとても楽しいようです。

三姉妹、これからも仲良く家族や友達、地域の人達に囲まれてすくすくと成長していってほしいです。

新年あけましておめでとうございます

組合員の皆様にはコロナ禍というこれまでに経験した事のない正月ということで、複雑な思いで新しき年をお迎えのことと思います。

例年の正月であれば都会に住む家族も帰省し一家団欒の時を過ごすところですが、今年は帰省を自粛した人も数多くいるのではないかでしょうか。ここまで医学が発達した現代において、これほど世界に感染症が広まろうとは誰もが予想だにしなかつたところです。今のところ、終息の日途は全く立てていないう状況ですが、ワクチン接種もすでに始まった国もありますので一日も早くワクチンが世界に行き渡りコロナ感染が終息に向かうことを願うものであります。

今年の新春対談で3名の園芸農家の方々からお話を伺いました。その中で今後、営農を続けていくうえで一番困つていることは何かとお聞きしたところ、労働力不足であると言うことでありました。人手に頼らなければならぬ園芸の最大の課題であります。米の消費が今後も落ち込むことが想定される中で、生産者の所得を確保していくためには園芸振興を図るほかありません。今後、JA鶴岡は鶴岡市と連携のもと、全力を挙げて労働力不足解消に取り組んでまいります。

本誌「けさらん」も今月号で記念すべき600号となりました。これまで半世紀に渡りご愛読頂きました組合員の皆様に心より感謝を申し上げますとともに、これからも引き続いてのご愛読を頂きます様よろしくお願い致します。

結びに、令和3年が組合員の皆様にとりまして、コロナ感染も終息し安心して農作業に取り組める一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

代表理事組合長 佐藤茂一

2021年
新年合併号企画
新春対談



「築け！信頼と100億安定産地」

昨年から100億産地の安定化を目指して、第12次地域農業振興運動計画を展開しています。

主要園芸品目の生産組織の代表者3名の方々をお招きし、「築け！信頼と100億安定産地」に向けて思いを語っていただきました。

コロナ禍における苦労や課題



司会（参事）

第12次地域農業振興運動計画は、

新型コロナウイルス感染症によってこれまでの生活や経済が一変した想定外の環境でスタートしました。本日は、2021年新年合併号企画として、主要園芸品目の生産を牽引している3名の代表者の皆さまより運動のスローガン「築け！信頼と100億安定産地」と題し、それぞれの思いを語つていただき、運動を一層強化したいと考えます。

まず始めに、昨年の振り返りを語つていただきます。

組合長 昨年のコロナ禍という状況は誰も経験したことがない1年でした。その中で我々が一番心配したのが、園芸品を一体どれくらいで取り扱ってもらえるのかでした。そこで、県内JAの全組合長が全農へ叱咤激励をしました。

花卉は当初だいぶ苦労しましたが、メロン、だだちゃ豆は例年以上の価格がつき大変ほつとしました。収量についてはメロンは十分だつたが、自然災害による部分もあり、だだちゃ豆、ミニトマトについては落ち込んでしまいました。実際に栽培している皆さんには大変苦労をされたと思います。

佐藤さん 西郷砂丘畑ではこれまで長い間水害に悩まされてきましたが、教訓を活かした排水対策を施してきました。その効果があつて、昨年7月は長雨が続き雨量も多かったのですが、メロンの被害はありませんでした。砂丘

畑ハウスのミニトマトの収量は確保しましたが9月までの単価が安かつた。その影響で全体として売り上げは伸びなかつた。10月以降は価格が上がつてきましたが、序盤からもつと価格がよければよかつたです。

斎藤さん

メロンは砂丘畑振興会長が話したとおり、水害対策を施したおかげで今年は水害がなく生産者全員がよかつたと言つてくれた。

春先にコロナによる減収対策として収入保険に入つたらどうかと周囲に言われ、支所長や営農次長へ相談したが、すでに契約できる時期が終了していると言われ失敗したと思いました。会員からは「例年通り作付けしていくのか」などの心配や相談の声がたくさんありました。でも、作付けしなければ収入はないので、出来る限り作付けしようと考えました。そんな中、お母さんたちが子どもに食べさせるイチゴが売れているという話が聞こえてきて、これならメロンも売れるんじやないかと思ひ、作付けすることを決めました。結果メロンは売れ、周りからは「コロナでも頑張つてよかつたの！」と声をかけてもらい安堵しています。

加賀山さん

だだちゃ豆もメロンと同じで、4月ごろからベテランの生産者から「補償はどうなつて、単価は大丈夫か」など非常に心配な声が聞こえてきました。それでも、これまで通りの作付けを維持していただくよう声掛けしましたが、私以上に生産者皆さんのはうが心配でした。7月の豪雨で排水が劣る地域の栽培は苦労したと思ひます。JAの販売が頑張つてくれたこともあり単価はよかつたのですが、想定以上に収量が落ち込んで

しまったことは非常に残念でした。

組合長

そうですね。春先、高級メロンの価格がなかなか伸びなくて、高級品はダメなのがなと思いました。だだちゃ豆も高級なので心配したが、結果的には単価はよかつた。巣籠もりが需要を生んだということになります。これはひとつ経験で今後の勉強になつたのではないかと感じています。

司会

結果としてメロンもだだちゃ豆も単価が安定した背景には長年産地作りをしてきた歴史のおかげでもあると思います。

100億安定産地に向けて 部会や個人としての JAへの期待や要望



司会 現在「100億安定産地」をテーマに掲げて農業振興に取り組んでいます。特にこのテーマに関しては部会の力が非常に大きく、

部会長である皆さんには大変な苦労をなされていると思います。部会や個人としてJAに対する思いや期待を語っていただきます。

組合長

「100億安定産地」のスローガンは生産者の農業収入の指標としての意味を持つています。是非生産者の皆さんと一緒に安定産地を作りあげていきたい。そのための取り組みとして、枝豆の共選施設やミニトマトの園芸施設リース事業などに取り組んでいます。

佐藤さん 今は有効な施策に取り組まなければならぬと考えています。

佐藤さん まずは労働力の確保が必要だと考えます。生産者は各々が置かれている中で精一杯やって100億を目指しているのが現状。これから団塊の世代が次々



ネットメロン専門部 専門部長

斎藤 司さん

●昭和42年生まれ。辻興屋。
●農業経営はメロン170a、ミニトマト10a、軟白ねぎ10aなど。そのほか農事組合法人辻ファームの構成員として水稻、大豆を生産。

斎藤さん 自分の集落は專業農家が約15戸で、うち20代の農業従事者が6人います。恐らく鶴岡市内でこの規模でこの人数はトップクラスの集落だと思います。これは西郷には砂丘畑があり園芸品目に特化できるからこそだと思います。

えればいいと思います。それと所得に反映できる講習会を開催してもらえば。JAは生産者毎に営農に関するデータをたくさん持っています。同じ面積でも売り上げがあがる人とそうでない人がいる。それは何が違っていたのか分析して指導してもらいたいと思います。



だだちゃ豆専門部 専門部長

加賀山 雄さん

●昭和56年生まれ。野中。
●農業経営は枝豆152a、ミニトマト10a、さゅうり4a、ごごめ2aなど。

新春対談 2021



メロンの作業は朝から晩まで休みなくやつていて、秋になればミニトマトや花卉が始まわり、冬になれば軟白ねぎと年中経営ができるが、必要とする労働力は親など高齢者を頼りにしては今後は難しくなる。そこで、経営者3人で1人を雇用して、それぞれで調整する

西郷選果場はメロンのレーンの修繕だけでなく、施設そのものも老朽化してきています。部分的ではなく施設全体をどうするか考えなくてはならない時期がきたと思っています。**加賀山さん** だだちゃ豆は先んじて共選施設を稼働しました。当初は先行がわからぬ状況でスタートしましたが、メロンと同様に家族労働力が厳しい生産者にとっては非常にメリットのある施設となりました。今年はコロナで特別なのかもしれません、メロンと同様に家族労働力確保はだだちゃ豆も厳しい状況です。施設の規模を拡大することは簡単ではないが、全員が将来的に共選になることを想定して期待投資してきたところもあるので、今後は考えてい

メロンの作業は朝から晩まで休みなくやつていて、秋になればミニトマトや花卉が始まわり、冬になれば軟白ねぎと年中経営ができるが、必要とする労働力は親など高齢者を頼りにしては今後は難しくなる。そこで、経営者3人で1人を雇用して、それぞれで調整するようないふるい雇用システムを作ろうと集落で考えています。雇用を増やすことで、規模拡大のほか遊休農地の問題も解消し、所得向上につなげることができます。



加賀山さん だだちゃ豆は機械コストが高い。特に昨年のように収量が下がると生産者は面白くない。豪雨対策の手立ては他にもあると思うし、更には収量アップの方法もあると思うので、指導員には今までにとらわれずに新しい考え方で指導していただきたいです。**組合長** 今年は7月の長雨の影響でだだちゃ豆の収量は総体的に落ちたが、人によってはよかつたと言う生産者もいます。この違いを指導員がしっかりと分析して、栽培情報を発信することを伝えています。

佐藤さん 他県のあるメロン産地では毎年、指導員が生産者全員の栽培に関するデータを把握・分析して足りない部分を指導してくれる

かなければなりません。労働力確保の問題だが、理想は外国人労働者の雇用。しま

あれば違ってくると思います。

加賀山さん 同感です。データ分析は有用で、

分析に沿った栽培をすることがとても有効だと思います。指導員の取り組みに期待したい

と思います。

組合長

圃場は場所によって砂質のところや粘土質のところなど様々があるので、一概に同じ技術が通用するものではないが、そこはデータを積み上げて分析して指導します。昨年から

「100億安定産地」に向けて皆さん共通の課題は、労働力確保のための雇用を今後どうするかということ。それをクリアできなければ所得向上はもちろん規模拡大や遊休農地の解消、メロンやミニトマトなどに関する新たな設備投資も厳しいということを改めて感じました。今後もJAは、皆さんに抱えている課題を解消するために全力で取り組んでいきます。

司会

貴重なお話を頂戴しありがとうございま

した。コロナの収束見通しが立たない状況ですが、厳しい環境を乗り越え安定産地の確立へ

と努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。ここで、新春対談2021を閉じさせていただきます。



初夢

年男年女
丑年

さんの



今年、年男・年女を迎える丑年生まれの皆さん。

新年にかける思いや夢、そして今、節目の年に何を思うか。

10名の方々にお話をうかがいました。

「七度目の年女」

新年あけましておめでとうございます。七度目の丑年年女を迎える、いつお迎えが来ても安らかにいければいいなと思っていました。運転免許も返納し、家族から病院や医者などに連れて行つてもらい感謝しています。

孫やひ孫に囲まれ、幸せを感じる日々を過ごしています。出来ましたら、5才のひ孫が成人式を迎えるまでお迎えが来ても「まだ早い」とお断りして、今年も体調管理に気を付けて過ごしたいと思います。



佐藤 美津子さん
岡山



門脇 旬くん
斎藤川原

「来年の目標」

僕は、来年六年生になって小学校の一番年上になります。小学校生活残り一年で頑張りたい事は二つあります。

一つ目は、体重を今より五キロ減らしたいです。逆上がりがどうしても出来ないため、体重を減らせば今ある筋力でいけると思ったからです。

二つ目は、計算能力や考える力を付けたいです。勉強量や難しさが増してきているので、「完ぺき」「速く」「正確」の三つが出来れば、今後の勉強は大丈夫だと思います。自信を持つて丑年を過ごしていきたいです。

「笑顔に包まれた幸せな1年に」

私は、今年就農して9年目になります。12年前は会社員で、そこで出会った嫁さんと結婚をして、父になり幸せな1年でした。今では3人の可愛い娘にも恵まれました。

私の家では、水稻・大豆・メロン・ミニトマト・軟白ねぎと四季を通して作物を作っています。何年作っても成功もあり、失敗もあります。毎年同じ味同じものが採れるわけではないので試行錯誤の毎日です。

今年は年男ということで、先を急がず一歩一歩着実にいい作物を作りたいです。そして、可愛い嫁さんと可愛い3人娘に囲まれて充実した日々を過ごして生きたいと思います。



大場 智晃さん
下川上



伊藤 美知子さん
中山

「いきいき楽しくチャレンジしたい」

中山に嫁いで数十年経過し、改めて時の経つのが早いものだなあと感じています。

以前、生花店に勤務していたこともあり、経験を活かし集落のお寺などで生け花を飾らせていただき、皆様より喜んでいただいています。また、上郷支所女性部の部員でもあり、フラワーアレンジメントの講師として部員の方と楽しく活動しています。

日々、何かと忙しく過ごしていますが、これからいろいろなことにチャレンジし芸達者の多い中山集落の一員として楽しもうと思います。



吉澤 芳子さん
中山

「今年こそは…」

新年明けましておめでとうございます。早いもので今年で四回目の年男となりました。

昨年はコロナウイルスの影響により、世界中が大変な一年となりました。私には子どもが三人おり、三人とも部活やスポ少でスポーツをやっています。コロナ禍の中で、大会が中止になつたり、観戦が制限されたりしますが、日々頑張つており、少しづつ成長が



五十嵐 誠さん

平田

今年こそは、子どもたちの熱い戦いを多く見られるよう応援、サポートしていきたいと思います。

感じられます。



加藤 音羽ちゃん

北京田

今年こそは、子どもたちの熱い戦いを多く見られるよう応援、サポートしていきたいです。



森 道広さん

菱津

山形に転居し12年。当初は繁忙時に手伝うだけだったが、義父が体調を崩し農家デビュー。農作業全てがわからぬことばかりの中、諸先輩に助けられ、今年5年目を迎える。トラクターに乗る私、田植機に乗る私、コンバインに乗る私、少し前には想像すらできないことだったが、今、田の中に立ち、右手に月山、左手に鳥海山眺めれば、この場所が自分の固有の環境になります。

「丑年にがんばりたいこと」

私が2021年、がんばりたいことは、小学校生活で一番の、あいさつをすることです。

あたり前のことかもしれません、あいさつは、されたり、したりすると、笑顔になれることです。あいさつは、登校、下校の時、地域の人達だけにするものでは、ありません。友達、先生方、お客様、いろんな人に対するものだから、みんなに笑顔になってほしいので、



阿部 和音ちゃん

面野山

2021年は、笑顔になれる、あいさつをがんばりたいです。



和田 弘子さん

滝沢

早いもので5回目の年女（還暦）を迎えます。21歳で結婚。3人の子ども、7人の孫達に恵まれ、忙しい日々を過ごしてきましたなあと感じています。

30代は子どもの学校に追われ、40代は可愛い孫達に出逢い、50代は姑や親の介護。60代はどんな事が待っているかと楽しみです。

主人は兼業農家で、春は種まきから田植え、秋には稲刈り。大まかな仕事だけ手伝えます。定年退職まであと5年。老後の生きがいを探りつつこれから先の人生も家族に感謝し、健康に気遣いながら、のんびりと過ごそうと思います。

「年男としての抱負」

2021年は、お世話になつた方々への感謝を忘れず、少しでも恩返しできるような年にしていきたいです。

私はこれまで親族や友人、先生方など多くの方に支えられ、育てていただきました。特に地域の方々からは、今の私の礎となつているコミュニケーション力や人と接することの楽しさを教わりました。2021年は親族、友人だけではなく、地域住民への感謝の気持ちを忘れず、年男として、少しでも地域住民の力になれるようinskyアップしていきたいです。



佐藤 亮太さん

蓮花寺

今まであと5年。老後の生きがいを探りつつこれから先の人生も家族に感謝し、健康に気遣いながら、のんびりと過ごそうと思います。

501号(平成24年9月)

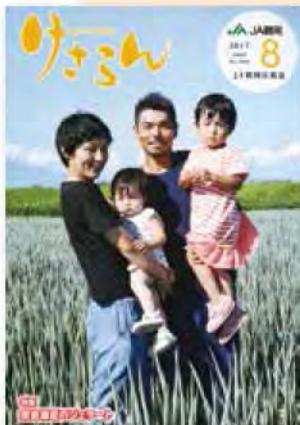
組合員家庭のお子様を紹介する「鶴岡のおこさま」。現在は「スマイルキッズ」として連載中。



548号(平成28年8月)



501号(平成24年9月)～600号(令和2年)
までの誌面を振り返ります!



～広報誌の誌面で振り返るJA鶴岡のあゆみ～

「けさらん」

おかげさまで／

600号へ突入！



広報誌の変遷と 主な出来事



545号(平成28年5月)

「鶴姫レッドメロンアイスクリーム」がご当地アイスクリームグランプリで味の評価審査賞と総合評価で金賞を獲得した時の記事。令和元年度には「日本農業新聞一村逸品」優秀賞も受賞しました。

531号(平成27年3月)

「殿様のだだちゃ豆フリーズドライ」が平成26年度の「日本農業新聞一村逸品」大賞を受賞!審査委員長の漫画家・やくみつるさんは「日本文化が外国から注目を浴びる中、土産として買ってもらおうといった視点で審査した。どれも高い水準で、今後もっと売り込みの姿勢をもってほしい」と評価しました。



「殿様のだだちゃ豆フリーズドライ」を手にする審査委員長のやくみつる氏(23日、東京・秋葉原の日本農業新聞本社で)

JA鶴岡の広報誌は昭和47年9月に『くみあい』として創刊し、本号をもちまして600号を迎えました。これも、ご愛読いただいている皆さま、広報委員や取材などにご協力くださった皆さまのおかげです。今回の特集では600号を記念して、過去の広報誌と共にJA鶴岡の主な出来事を振り返ります。

大山地区選出理事 佐藤 治一



524号(平成26年8月)

2年続いた「リーダーの横顔」コーナーでは、当JA理事・監事から地元や農業に対する思いなどを語っていただきました。



555号(平成29年3月)

女性大学「きらめきカレッジ」
1期生卒業にあたり、2年間
の歩みを振り返りました。
最終回では和食のマナー講
座を行いました。



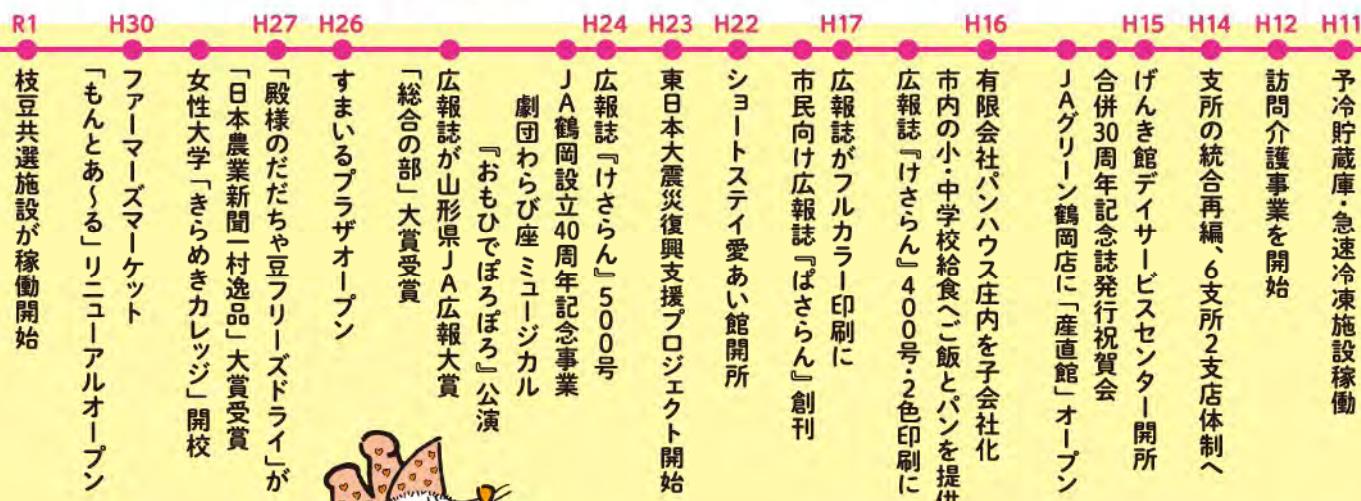
548号(平成28年8月)

県内JAで初めて福祉事業に取り組んだJA鶴岡。事業内容を知ってもらおうと「福祉ホツとNEWS」の連載をスタート。初回はげんき館を利用した時の1日の流れを紹介しました。



508号(平成25年4月)

JA鶴岡復興支援プロジェクト特集「忘れないこと。伝えること」。東日本大震災が起きた平成23年に職員を中心に立ち上げた「復興支援プロジェクト」は平成27年まで33回実施。役職員や生産者等、述べ250人以上が参加しました。



これからも皆さまに愛される「けさらん」へ

これからも親しみやすく、読みたくなる広報誌づくりに取り組んでまいります。よりよい誌面づくりのため、皆さまのご意見・ご感想をぜひお寄せください!



584号(令和元年8月)

枝豆の生産維持拡大のため、色彩選別設備や計量包装設備を整備した枝豆共選施設が本格稼働。年間作業量は217・6t(作付面積約50ha相当)です。作業の流れを写真で詳しく紹介しました。



572号(平成30年8月)

産直館として16年目を迎えた平成30年。店舗名を「もんとあ～る」に改めリニューアルオープンした時の記事。オープニングイベントは多くの買い物客でにぎわいました。



全問正解者の中から抽選で

10名様に JA鶴岡 お買物券
3,000円分
プレゼント

14ページのはがきの回答欄に
記入しご応募ください。
締め切りは2021年1月7日
の消印まで有効です。

けさらん 新春クイズ

明けましておめでとうございます。2021年も広報誌「けさらん」をよろしくお願ひいたします。

けさらん新春クイズと題して2020年を振りかえってのクイズを出題します。

問題は、本号も含め2020年発行の広報に掲載された記事から出題していますので、

思い出しながらお答えください。何問正解できるでしょう？

お年玉企画として、全問正解者にはプレゼントを用意しました。

皆さんからのご応募お待ちしております。全問正解を目指してレッツトライ!!

第2問

パンハウス庄内で2020年秋頃
に新発売した商品の名前は？

- ①メープルバター
- ②鶴姫レッドメロンパン
- ③千果トマトカンパニュ



2020年9月号に
掲載しています！

第1問

今月号のトピックスにある
月山高原牧場から下牧した家畜は？

- ①馬
- ②牛
- ③羊



第3問

青年部大泉支部で2020年
8月に大泉保育園へプレゼントした
園芸品目は？

- ①きゅうり
- ②メロン
- ③だだちゃ豆



第5問

SDGs(エスディーゼーズ)とは、
2015年に国連で採択された2030年まで
に持続可能でよりよい社会を目指す国際目標
のこと。この国際目標
は全部でいくつ？

2020年
6月号をみてね！

- ①10
- ②15
- ③17



第4問

だだちゃ豆、ネットメロン、
ミニトマト、長ねぎ、さやいんげん
の5つの専門部と花き振興部会
のうち、会員数と生産量が10年前
(平成22年度と令和元年度)と
比べて増加している部会は？

- ①だだちゃ豆専門部
- ②ミニトマト専門部
- ③花き振興部会



J.A. 鶴岡ホームページ「広報誌の紹介」ページでバックナンバーをご覧いただけます。

年に一度
の祭典

女性フェスティバル開催!



あいさつする渡部部長

J A鶴岡女性部は11月17日、荘銀タクト鶴岡で「JA鶴岡女性フェスティバル」を開き、部員・関係役職員ら約140人が参加しました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から内容を見直し、コンサートとお楽しみ抽選会のみ行いました。

渡部優子部長は「コロナ禍で思うように女性部活動も開催できない現状だが、今日は目いっぱい楽しんでほしい」とあいさつ。

宮城県仙台市を中心に、南米の楽器であるバンドネオンとアルパの異色デュオ「Apolonita（アポロニータ）」として演奏活動を行っている渡辺公章さんと美和さん夫妻を招き、コンサートを行いました。

アルバ 渡辺美和さん

南米伝承曲の「コンドルは飛んで行く」や、久石譲さんの「もののけ姫」、加山雄三さんの「君といつまでも」などを披露いただきました。JA女性の歌「明日 輝くために」を特別に演奏いただき、参加者は口ずさみながらバンドネオンとアルパの音色を楽しんでいました。

参加者は「初めて見る楽器から奏でられるきれいな音色に癒された」「心和むメロディーで至福のひとときを過ごせた」と話していました。



バンドネオン 渡辺公章さん

抽選会
の様子



出演者のサイン入りCDをはじめ豪華景品が当たりました♪



ねずみちゃん&ねこちゃんも登場し、会場を盛り上げました!

大きく成長し下牧

月山高原牧場から牛舎へ

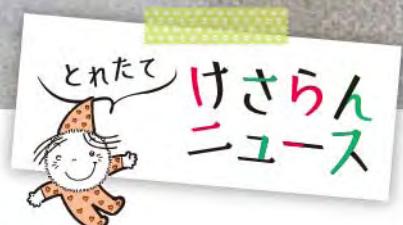
鶴岡市羽黒地区にある月山高原牧場で10月30日、今シーズンの放牧が終了し、夏場を過ごした牛を畜産農家に戻す下牧作業が行われた。

同牧場には、5月に管内の畜産農家5戸から38頭が入牧。月山山麓の標高約350㍍にあるので夏でも涼しく、約100㌶もの広大な牧草地での放牧は、産後の体力回復や受胎に向けた体づくり、農家の負担軽減が目的。

市内で和牛繁殖経営を営む佐藤正さん（西京田）は「牛たちの健康増進と農家の負担軽減につながる。これから元気な子牛を産んでほしい」と話す。



牛をひく佐藤さん。



ラ・フランス目揃い会

選果・選別しっかりと

西洋梨専門部は10月30日、北部集出荷場で秋の味覚として人気の西洋梨「ラ・フランス」の目揃い会を開いた。

園芸指導係は形状やスレ傷など等級ごとの基準をサンプルを見せながら説明し「今年は輪紋病発生が見受けられるため選果選別をしっかりと、多くの出荷をお願いしたい」と呼び掛けた。

同専門部では、部員10人がラ・フランスを栽培している。



サンプルで出荷規格を確認する生産者。

赤ネギ目揃い会

出荷規格変更を確認

長ねぎ専門部は10月29日、北部集出荷場で赤ネギの目揃い会を開いた。生産者12人が参加し、今年から変更された出荷規格の選別基準などを確認した。

渡部昌良司専門部長はあいさつで「9月のフーン現象により一部軟腐病が発生したが、防除徹底により生育は回復した。健康には気を付けて作業をお願いしたい」と話した。

数量は約8㌧を見込み、出荷は1月頃まで続く予定で主に関東市場へ出荷される。



サンプルで出荷規格を確認する生産者。



ふれあい伝言板

広報「けさらん」を読んでのご感想や身の回りのことなど、なんでもかまいませんので投稿お待ちしております。クロスワードが解けなくても投稿OKです。

▶市役所に用事があり、11月中旬に1階ロビーに入ったらきれいな花々が展示されておりました。花き振興部会のPRとのことでしたが、やはり花があると心が自然になごみますね。

鶴岡は花の名産地！管内の花農家さん96人が約40種類を年間で約745万本栽培しています。皆さんも花のある暮らしをしてみませんか？

▶11月の好天気はうれしいね。女性部の女性フェスティバルが荘銀タクトで行われた。コロナの中、検温・消毒・密を避けた参加者数と席の配置等、準備万端に整えてのコンサートでした。ナマで聞かれたバンドネオンとアルパの演奏すばらしかった！南米の明るい太陽を感じられた。

▶市役所で花を展示したという記事をみました。たまたま用事があって行った時に展示してあったのを思い出しました。地元でこんなにステキな花を生産しているなんて知りませんでした。とても癒されました。

▶寒い季節になると鍋がいいですね！春菊もおいしいです。

▶先日テレビで春菊を取り上げられました。苦味に弱い方は10秒加熱、少々苦味が大丈夫な方は20秒加熱がベストだそうです。今度試してみたい。

▶我が家でも春菊を植えて産直に出荷しています。鍋の多くなるこの季節、需要が多くなります。香気の強い野菜は好き嫌いがハッキリしますね。

鍋が恋しくなる季節は春菊もおいしくなる季節。私も鍋はもちろん、ごま和えや天ぷらなどで味わっています♪春菊は漢方薬の本場中国でも昔から珍重され「食べる風邪薬」と言われるほど免疫力を高める効果があるそうです！

メールアドレスQRコード▶



■ふれあい伝言板へのメールは、kesaran@ja-tsuruoka.or.jpまでどうぞ！

郵便はがき

9 9 7 - 8 7 9 0

鶴岡市日吉町3-1

J A 鶴岡 広報係 行き

42

差出有効期限
令和4年4月
13日まで

(切手不要)



※差し支えなければご記入ください。

ご住所	〒		
	市		
ふりがな	性別	年齢	
お名前	男・女		
電話番号			

(ヤニニアシ)



オータムフェア2020

家電や寝具特価で販売

10月31日、11月1日の両日、大泉支所でオータムフェア2020を開き、暖房機や有機ELテレビなどの各種家電製品、ガス器具、仏具、寝具などの生活関連用品やオーダーメイドの紳士服などを販売。すまいるプラザでは旅行の相談や葬儀の事前相談を行った。

2日間で308戸の組合員と家族が訪れた。

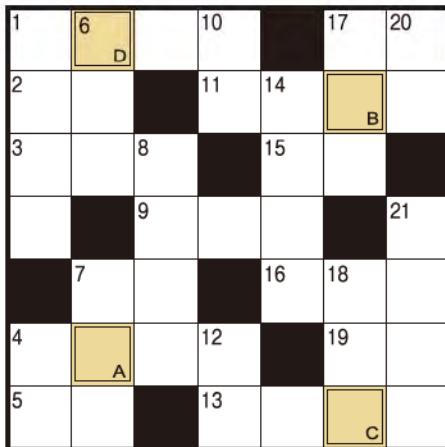
給油所 JASSS-POR T鶴岡のガソリン・軽油の大特価と粗品進呈も企画。その他、菓子工房けさらんハウス「ママの会」がきんつま焼きの販売などでフェアを盛り上げた。



お薦め製品の機能や特徴を説明するJA職員④。



色付きマスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉はなんでしょう？締切は1月7日。どしどしご応募下さい！正解者の中から抽選で5名様に、1,000円分の「JA鶴岡お買物券」をプレゼント！ご応募お待ちしております！



先月号の答え

シユンギク

↓タテのカギ

- 1 羽根突きに使う道具
- 4 すずりですります
- 6 止まらず次に進むこと
- 7 重さを知りたいときに使います
- 8 テレビやエアコンに向けてボタンを押します
- 10 ご飯のこと。焼き――
- 12 いんいちがいち、いんにがに……
- 14 ――付きのタイで成人を祝った
- 17 車が動きださないようにタイヤにかませます
- 18 同種の事例は枚挙に――がない
- 20 凍った場合は氷瀑（ばく）と呼ばれます
- 21 ひもの――が固くてほどけないよ

→ヨコのカギ

- 1 富士ニタカ三ナスピは、何に見ると縁起の良いもの？
- 2 キャンバスの大きさを表すときに使う言葉
- 3 港を表す地図記号はこの形
- 4 強烈な悪臭がする液をお尻から噴射して身を守る動物
- 5 1/100はセンチ、1/1000は
- 7 なぜか猫が入りたがる物
- 9 大豆や緑豆の種子を暗い所で発芽させた物
- 11 物事をするのにちょうど良い頃合い
- 13 おせち料理に入れる煮豆
- 15 鶴は千年、――は万年
- 16 ご飯のこと。カレー――
- 17 ぬいぐるみに詰めます
- 19 ピーヒョロロと鳴く大きな鳥



お知らせ

1月の定休日

1/13(水)

理事会開催報告

2020.11.26 開催

- 第1号議案 山形県随時検査の結果について
- 第2号議案 令和2年度 上半期決算監事監査報告書について
- 第3号議案 山形県農業信用基金協会に対する出資について
- 第4号議案 固定資産の取得について
- 第5号議案 令和3年度正職員登用について
- 第6号議案 理事に対する利益相反取引の承認について
- 第7号議案 今後の経営刷新の進め方について

以上の全議案を慎重審議の上、全て原案通り議決されました。

クロスワードのこたえ

第1問

第2問

第3問

第4問

第5問

ふれあい伝言板

■広報に対するご意見、ご感想のほか、誰かに伝えたい・聞いてほしい話などなんでも結構です。皆様のあたたかいお声をお待ちしています！

JA鶴岡 ファーマーズマーケット MONTREAL もんとあ～る

本年もたくさんのご愛顧
誠にありがとうございました。

12月26日土～31日木
年末セール 開催します

年越しそばとして
手打ち田川そばや
鬼坂そばの
注文を受け付け中です!

12月31日本日の昼12時をもって、年内の営業は終了します。

2021年も「もんとあ～る」
白山店・駅前店・のぞみ店をよろしくお願ひいたします。

2021年
もんとあ～るの初売り
1月5日火
9:30 オープン

1月～3月は全時間営業
3店舗とも
9:30～17:30
1月13日㈬は定休日

毎年恒例の「日酒のあみ分け」
休止とさせていただきます。
毎年大好評!
早い者勝ち!
玄米福袋
野菜福袋

マイカーの夢を応援!
**マイカー
ローン
キャンペーン**

店頭基準金利
年1.85%より
**最大
年0.50%引下げ**
※条件を満たした場合に、最大年0.5%引き下げとなります。
※詳細についてはお近くのJA/銀行窓口へお問合せください。

ローナン
教育
ローン
キャンペーン

お子様の未来を応援!
**教育
ローン
キャンペーン**

最大引下げ後変動金利
年1.35%
(2020年11月1日現在) +保証料率
ネット仮審査OK!

[実施期間] 2020年11月1日～2021年4月30日 好評受付中!

「JAとのお取引はこれから」というお客さまもお気軽にお問い合わせ・ご相談ください。(ご利用に際しては、組合員加入のための出資が必要となります。)

詳しくはJA窓口へ
取扱店
スマートフォン、タブレットからも
仮審査できます!
お申込みはこちら

■本店(☎22-3260) ■上郷支所(☎35-2155)
■南支所(☎29-9960) ■大山支所(☎33-3345)
■大泉支所(☎22-2460) ■西郷支所(☎76-2331)
■北支所(☎29-0433)

JA鶴岡 ©よりう

始まりました! みんながトクする
J A でんき

JAグループだから
簡単! 安心! 安い!

JAでんきとは
組合員のみなさまが日々ご利用されている電気の
料金をお安くするために、JAグループが取り扱う電気メニューです。
切り替え簡単、JA口座をそのままご利用できます。

● 切替は簡単!

step① 所定の申込書と検針票の準備
※現在のご契約内容が分かるもの

step② JA鶴岡生活課・各支所
JAでんき担当者へ提出
※お客様には電力会社への解約連絡などを含め切替手続きは一切発生いたしません。

step③ 指定メールアドレスへ
切替日程等
ご案内送付
※送信メールの対象などでドメイン指定を行っている場合は、メールが受信できない場合ございます。
[@ec.jp]を受信設定してください。

最大
3,000円
おトク
キャンペーン

JAでんきへの新規申込みで
3ヶ月間 毎月1,000円OFF!
キャンペーン期間
令和3年3月31日まで

詳しくはこちらから!
JAでんき 検索
<https://zennoh-energy.co.jp/ja-denki/>

